

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	令和 8 年 2 月 22 日		～ 令和8 年 3 月 4 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	令和 8 年 2 月 22 日		～ 令和8 年 3 月 4 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 3 月 7 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	居宅支援と放課後等デイサービスを同法人で運営しているため、家庭での様子や困りごとを共有しやすく、支援に一貫性を持たせることができています。	居宅支援と放課後等デイサービスの両方で起こった出来事を日々共有し、子どもの生活全体を見通した支援につなげています。家庭と事業所の情報がつながることで、支援の質を高め、子どもがより安定して過ごせる環境づくりを意識しています。	支援の質をさらに高めるため、職員間の情報共有体制を強化し、支援方法の統一や環境整備を継続しておこないます。子どもが安心して過ごせる場を維持するため、定期的な振り返りや改善にも取り組んでいきます。
2	一人ひとりの課題を丁寧に明確にし、必要に応じて専門職とも連携しながら支援をおこなっている。日常生活動作の習得に力を入れ、家庭での生活がよりスムーズになるよう、子どもと家族の双方を支える支援プログラムを工夫している。	日々のミーティングで細かく情報共有をおこない、子どもの様子や変化を職員全体で把握できるようにしている。共有した情報をもとに支援方法を検討し、集団活動と個別支援の両面からアプローチしています。また、マンツーマンの個別支援を含め、保護者の要望や意見を取り入れながら、子どもが“自分でできること”を増やせるよう支援の方向性をそろえて取り組んでいます。	支援力の底上げのため、職員間で細かい支援方法の統一を図り、子どもにとって分かりやすく安心できる関わりを目指しています。また、支援の質を高めるために、記録やミーティングの内容を見直し、より効果的な情報共有体制を整えています。さらに、発達段階や保護者のニーズに沿った課題をもとに個別支援計画書を作成し、より効果的な支援プログラムを立てて提供できるよう、支援方法の見直しや統一を継続し、職員全体の支援力向上につなげていきます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域や関係機関との連携をさらに深める必要があり、情報共有の機会を増やしていくことが必要	地域や関係機関との関係構築が十分に進んでおらず、外部との連携に向けた時間や機会を確保できていない。	地域や関係機関との連携を深めるため、情報交換の機会を意識的に増やし、地域とのつながりを広げるための時間を確保できるよう体制を整えていきます。また、必要に応じて協働の場を設けるなど、外部との連携を進める取り組みを強化していきます。
2	保護者同士の交流や、きょうだい向けのイベントなど、家族への支援の機会を設けていく必要がある。	日々の個別支援や家庭との連携を優先して取り組んできたため、保護者同士の交流やきょうだい支援の場を設けるための時間や体制が十分に整っていなかった。	保護者交流やきょうだい支援の機会を設けるため、参加しやすい場づくりや体制整備を進めていく必要がある。
3			